



ごあいさつ

日頃から市政へのご理解、ご協力に感謝申し上げます。

—昨年春から始まった新型コロナウイルス感染症は、変異を重ねるたびに感染拡大の波が大きくなり、一向に収まる気配がありません。元の生活を取り戻すためには、ワクチン接種の効果に期待し、感染予防の努力を続けながらこのコロナと闘っていかねばなりません。

今しばらくお互いに頑張ってまいりましょう。

一方、我が国はもとより世界中がコロナ対策で大変な時に、ロシアが隣国ウクライナに武力をもって侵攻、平和を望む国際世論を無視、大変危険な状況となっています。

コロナ対策と戦争の脅威、内憂外患、厳しい日々が続きます。

令和4年度神戸市予算は新型コロナウイルスの感染防止と医療体制の維持、市民生活の安定と経済活動の維持・回復に重点をおいた予算となりました。

市会では市民生活に直結する諸課題について各種議論がなされ、私も会派を代表し関係当局に質疑(4頁に要点を報告しています)いたしました。また、ウクライナへのロシアの侵攻に対して厳しい抗議を全会一致で採択いたしました。

今後とも皆様からのご要望やご意見をいただき、諸課題をしっかりと受け止めながら活動を続けてまいります。



令和4年3月4日 予算特別委員会質疑

兵庫運河の自然を再生するプロジェクトが動いています

①兵庫運河(貯木場の跡地・浜山小学校前)では海草「アマモ」が育っています

2020年国土交通省が港湾整備のため第5防波堤撤去工事から出た廃棄される土砂や石材を使った、兵庫運河に人口の干潟を作りました。その干潟に地元の漁業組合や兵庫運河を美しくする会など地域の皆さんが、水質浄化や藻場の造成、環境美化活動を続けるなか、また、浜山小学校の生徒たちの環境学習も兼ね、アマモの移植や育成に取り組んでまいりました。ここ数年移植した場所から離れた場所にも広がりをみせ、かなりの成果が出ています。



広報紙KOBÉ3月号より市長のコメント



兵庫運河での環境学習 浜山小学校の子供たち

②兵庫運河が脱炭素社会の実現に向けた「ブルークレジット」認証申請が認証されました

近畿地方整備局は脱炭素社会の実現に向けて港湾にカーボンニュートラルポートの形成に取り組んでおり、この度兵庫運河の「兵庫運河の藻場・干潟と生きもの生息場づくり」のプロジェクトに、「ブルークレジット」の譲受人公募が行われました。(公募期間令和3年12月28日～令和4年1月31日)

③ブルーカーボンの取り組み、あさり・アマモの育成事業や環境学習を区内の各小学校に広げては

兵庫運河では貯木場廃止のあと、神戸市環境局が水質浄化のため、地元有志と各小学校の生徒や父兄とともに市内の真珠会社の協力・指導のもと真珠貝プロジェクトを立ち上げ活動を続けています。また、今回地元浜山小学校の子供たちが漁業組合・地元の有志の皆さん指導協力のもと環境学習として干潟にあさり・アマモの育成に取り組む成果を上げています。

このように兵庫運河を核として「持続可能な社会を作るため海の環境を守る」こうした環境教育を楽しみながら学べる活動を広く区内の小学校に広げては…と私は議会で発言し、教育委員会や学校側の理解を得ながら進めています。(4頁のことも家庭局・教育委員会の質疑を参照ください)



浜山小学校での環境授業

令和4年度の神戸市の予算の概要です(神戸市予算書資料から)

令和4年度の予算は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策と、それを支える医療提供体制の確保。同時にコロナによって影響を受けた市民生活を守り、売り上げや利益に影響のあったお店や商店、そして会社・企業などの経済活動の維持・回復に最優先に取り組まれた予算になっています。

また、自然豊かな神戸の街を、誰もが学び、働き、子育てしやすい、住み続けたいまちにするために「まちの質」「くらしの質」を重視した施策を強化し、持続可能な開発目標SDGsを推進するため「海と山が育むグローバル貢献都市」の実現に向けて各種施策を進めていく内容となっています。

次の「7つの柱」に沿って、皆様の負託にお応えいたします。

- 1 コロナとのたたかいに打ち克つ
- 2 健康と安全を守る
- 3 温もりのある地域社会を創る
- 4 のびやかなくらしと環境を創る
- 5 力強い神戸経済を創る
- 6 未来に輝く神戸の街を創る
- 7 DXの活用による市民参加を進める

令和4年度の予算の概要

(単位：百万円)

会計別	令和4年度
一般会計	886,850
特別会計	660,499
企業会計	333,046
合計	1,880,395

(1)一般会計

○新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と医療提供体制の安定的確保、市民生活・経済活動の維持・回復に最優先で取り組むとともに、「まちの質」「くらしの質」を重視した施策を強化し、SDGsの推進による「海と山が育むグローバル貢献都市」の実現に向けた施策を積極的に計上した。

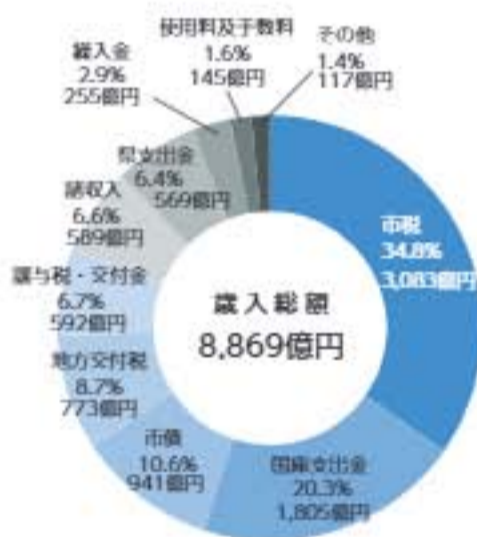
(2)特別会計

○超高齢社会の進展に伴い介護保険事業費や後期高齢者医療事業費が増加した一方で、本場卸売棟・仲卸売場棟再整備の事業進捗に伴い市場事業費が減少した。

(3)企業会計

○ウォーターフロント地区の再開発に伴う土地購入費の減等により港湾事業会計が減少した一方で、設備改修等により高速鉄道事業会計が増加した。

款別歳入予算の構成比



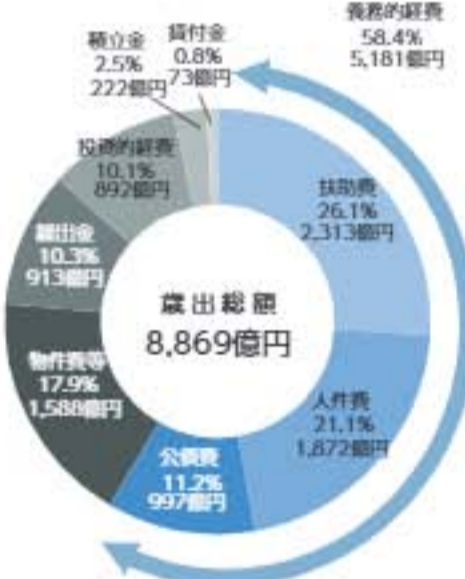
予算のなかで一番大きな位置をしめる市税の内訳について報告します。

一般会計歳入予算の概要

(単位：百万円、%)

項目	令和4年度	構成比
市税	308,349	34.8
譲与税・交付金	59,229	6.7
地方交付税	77,325	8.7
分担金及負担金	536	0.1
使用料及手数料	14,477	1.6
国庫支出金	180,455	20.3
県支出金	56,913	6.4
財産収入	8,767	1.0
寄附金	2,353	0.3
雑収入	25,476	2.9
雑経金	0	0.0
請取収入	58,894	6.6
市債	94,078	10.6
合計	886,850	100.0

性質別歳出予算の構成比



予算のなかで一番大きな位置をしめる扶助費の推移について報告します。

一般会計歳出予算(性質別)の概要 性質別予算の対前年度比較

(単位：百万円、%)

項目	令和4年度	構成比
社会的経費	518,149	58.4
扶助費	231,286	26.1
人件費	187,203	21.1
公債費	99,660	11.2
投資的経費	89,209	10.1
物件費等	158,765	17.9
雑出金	91,262	10.3
貸付金	7,285	0.8
積立金	22,179	2.5
雑経金	0	0.0
合計	886,850	100.0

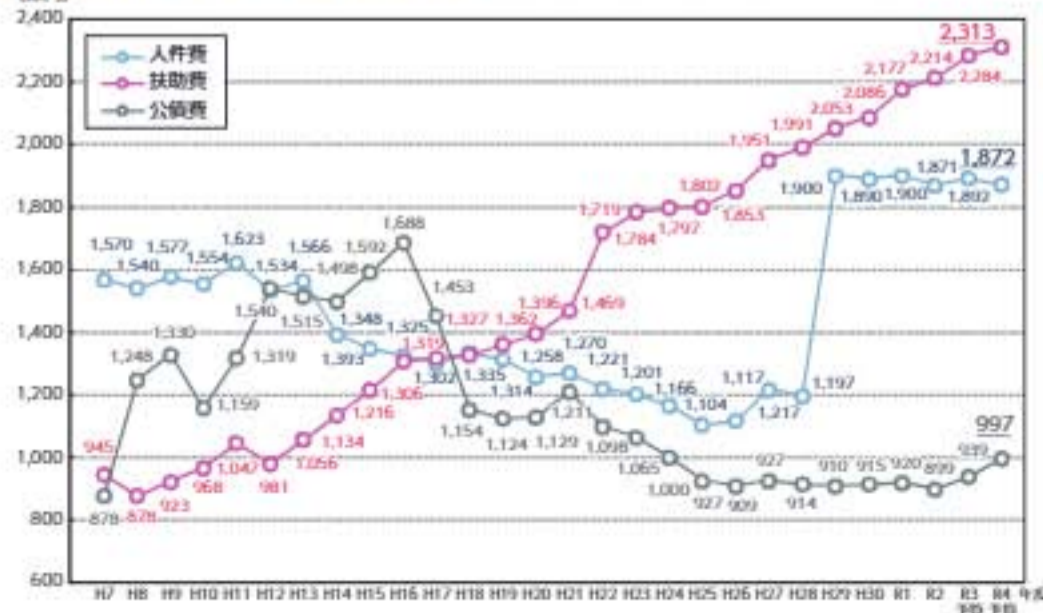
市税

(単位：百万円)

項目	令和4年度
市民税	147,859
個人市民税	126,237
法人市民税	21,622
固定資産税	116,035
軽自動車税	1,912
市たばこ税	9,460
特別土地保有税	0
入湯税	288
事業所税	9,358
都市計画税	23,436
合計	308,349

人件費・扶助費・公債費の推移

(億円)



扶助費の増減(主な事業)

令和3→令和4 (増減)

(単位：億円)

生活保護 764→752 (-12)	-生活扶助 -住宅扶助 -医療扶助
児童福祉 851→851 (△0)	-教育・保育給付等 -児童手当 -児童扶養手当 -子ども医療費
障害者福祉 578→624 (+46)	-自立支援給付 -障害児通所入所・措置 -地域生活支援事業
老人福祉 23→23 (△0)	-養老老人ホーム施設整備
衛生・教育等 68→64 (-4)	-不妊治療 -難病医療費助成 -就学援助

国際都市「神戸」は外国人が多く住んでいます

多文化共生・国際交流の推進のため各種施策が実施されています

1. 在住外国人への支援として

外国人学校への助成・神戸国際コミュニティーセンターの運営など

2. 留学生への支援として

神戸市留学生への奨学金(月額8万円・対象者30人)

3. 姉妹都市等との交流(下記各市と記念事業や経済交流を進めています)

姉妹都市 シアトル市、マルセイユ市、リオデジャネイロ市、リガ市

ブリスベン市、バルセロナ市、仁川広域市

友好都市 天津市

親善協力都市 フィラデルフィア市、大邱広域市

4. 海外ヘシティブロモーションの推進

市内での外国人登録者数は令和4年1月末48,211人・138か国・地域

1.韓国 15350 2.中国 13583 3.ベトナム 7815

4.ネパール 1540 5.フィリピン 1388 6.アメリカ 942

7.インド 858 8.インドネシア 500 9.ブラジル 425

つづいてイギリス、ミャンマー、タイが300人台 カナダ、パキスタン、バングラディッシュが200人台とつづいています。

ロシアの侵攻により神戸市内でもウクライナ支援の輪が広がっていますが、現在在住するウクライナの人々は66人です。

市内の大学・短大・専修学校での外国人留学生は(令和3年5月現在)

大学・短大 5581人 専修学校 2033人

令和4年度 兵庫区の区裁量予算です

令和4年度兵庫区裁量予算 71,566千円

1. 兵庫区裁量予算

1. 広報・広聴関係 8,674千円

兵庫区政90周年記念事業・空家・空地調査(要望者からの適正管理依頼)など

2. 防犯・防災関係 3,150千円

3. 区のみちづくり関係 6,492千円

兵庫区北部空家対策事業など

4. こども関係 7,845千円

兵庫区こどもプロジェクト・親育ち応援プログラムなど

5. 高齢者・障害者関係 1,022千円

地域見守りネットワークの構築など

6. 区のスポーツ振興関係 2,600千円

7. 補助金関係 37,384千円

はっぴい広場、兵庫運河祭 5,000千円

神戸新聞地関係 22,230千円(全額特定財源)など

8. 事務費 4,399千円

学校再開発などの空地は 次のように活用されました(兵庫区関係分)

大規模未利用市有地については、民間活用の導入を前提とした地域課題の解消、活性化に資する事業の事業者募集など、地域特性等に合わせた利活用を実施

物件名	所在地	面積(m ²)	処分形態	施設概要
湊山小学校 跡地	兵庫区 湊町	約6,000	定期借地 (15年)	【プロポーザル型事業者公募】 各種複合施設 カフェ、レストラン、緊急避難所、 学室、小規模保育所、クリニック、 環境教育施設等
旧夢野中学校 跡地	兵庫区 夢野町	約15,700	売却	【プロポーザル型事業者公募】 介護施設 施設内セミナースペース、地域 開放型ヒーリングガーデン、緊急 避難所併設
荒田小学校 (校舎跡地)	兵庫区 荒田町	約3,000	売却	【用途条件付一般競争入札】 集合住宅 地域福祉センター、公園、消防 団併設
荒田小学校 (第2グラウンド 跡地)	兵庫区 荒田町	約2,200	定期借地 (50年)	【プロポーザル型事業者公募】 多世代交流複合施設 サービス付き高齢者向け住宅、 コミュニティカフェ、保育所



兵庫区では マイナンバーカードの 普及促進に努めています

行政のデジタル化や住民サービスの迅速化・効率化を推進するため、区役所で円滑に交付ができるように臨時窓口を設けたり交付体制を強化し、多くの区民の皆様がマイナンバーカードを申請してくれるよう普及促進に努めています。

令和4年2月末時点の交付数

兵庫区:50,970枚 交付率:46.7%

市全体:768,420枚 交付率:50.3%

参考までに

政令指定都市20市の中で1位・全国の交付率:42.3%

人口は令和3年1月1日 兵庫区:109,214人

市全体:1,526,835人

こべっこランドが兵庫区和田岬に移転されます (旧中部下水処理場あと 令和4年7月 工事完了予定 9月供用開始予定)

こべっこランド(総合児童センター)は、さまざまな体験型の講座やイベントの実施、子どもたちが遊び・学び・心身ともに健やかに育つようサポートする大型児童センターです。

現在、こべっこランドはハーバーランドの8階建てのビル内にありますが、築30年を経て建物が古く、また児童福祉施設基準への適合などの理由により、新しく建築移転することとなりました。中部下水処理場の跡だけに、敷地面積も広く、鉄筋コンクリート造地上4階建て、建物の延べ床面積は現在の3624m²から4100m²と広がっています。屋外広場も1000m²あり、駐車場、駐輪場も十分備えています。併設される子ども家庭センターも現在の2370m²から5700m²と広くなりました。多くの子どもたち、ご父兄の皆さんの利用を期待しています。



こべっこランド完成図



建設中のこべっこランド(旧中部下水処理場跡)

令和4年第1回定例会市会2月議会(2月17日~3月29日)が開かれました。 予算特別委員会が設置され、私は第3分科会で次の2局の審査で発言しました。

こども家庭局(3月1日火)で5項目にわたり質疑いたしました。質疑のやり取りは要点のみ。

- ①ママフレのリニューアルについて ②区役所における子育て支援連携について
- ③こべっころんどの移転について ④地域子育て支援拠点事業について
- ⑤ 新生児聴覚検査に対する医療機関の支援

1. ママフレのリニューアルについて

補足 ●ママフレのリニューアルは、令和5年を予定。尚、スマートシティポータルログイン機能を備えたプッシュ型情報提供スマートこうべ(令和4年3月28日に開設運用スタート予定)の機能と連携を予定。

平野 今回令和4年度の予算にママフレリニューアルが予算計上されている。新しくなるママフレについてスマートシティポータルサイトのプッシュ型広報のスマートこうべと連携することが前提になっているか、またその全容について伺いたい。

中村子供未来担当局長 スマートシティポータルのスマート神戸は今年度3月下旬に開設運用スタートする予定。ログイン機能を備えてプッシュ型情報提供していくことも検討している。この機能と、ママフレのサイトと連携していくために、それぞれに掲載していく情報のコンテンツの元となるデータを整備をしていき、ログインシステムの中で情報が引き出せる形でプログラムを入れ、プログラムを適用した形でデータ整備をしていくことが必要。スマートシティ神戸との連携が非常に重要。使い勝手が上がるようにやっていきたい。

平野 リニューアルにおいての子育て情報のデータを区役所と連携していただきたい。

中村担当局長 情報の濃淡、情報のバリエーションも異なる状況の区の方と話をしながらきちんと進めていけるように努めていきたい。アンケートも踏まえて見直し、閲覧される方の端末によって見やすさを工夫し、SNSも情報発信で取り組んでいきたい。

2. 区役所における子育て支援について

平野 今年の4月から区役所のこども家庭支援課と健康福祉課が一緒になる。こども家庭局として区役所における子育て支援をどのように考えているのか。

山村こども家庭局長 令和4年の区役所の組織改正で健康福祉課とこども家庭支援課が一つになり、保健福祉課という形で複雑多様化するニーズに連携して対応していく。保健福祉課が区役所の中で子育て支援の総括的な関係にある。各課が分担し連携し、区役所全体として支援を行っている状態で、子供家庭局は各事業ごとにある各区役所ともしっかり連携をしている。今後も各区役所としっかり連携しながら、神戸市全体として子育て支援をしっかりやっていきたい。



平野 区役所における子育て支援情報の発信についてもっともっと深くこども家庭局が連携すべきだと考えるがいかがか。

中山副局長 各区においてかなりばらつきがある現状は認識をしている。やはりこの状態は市全体の子育て支援という観点から課題と感じている。改めて、市全体の広報を統括している広報戦略部、区役所と連携し、効果的な情報発信に努めていきたい。

3. こべっころんど移転について(紙面の都合上一部割愛します。)

【こべっころんどの活用に小学校との連携について】

平野 こべっころんどの近隣の小学校では、ブルーカーボンの取り組みとして、あさり、アマモ、真珠貝の育成授業や環境学習が行われており、この取り組みを他の小学校にも広げたいので、新しいこべっころんどの300平米あるホールを活用し環境授業に利用するという観点でも非常に有意義と考えるがいかがか。

山村局長 地域の小学校との連携は、こべっころんどが甲うべき業務。ホールや研修室も用意しており、このような施設を環境学習を実施する場所として、ご利用いただきたい。指定管理者と小学校が連携しそのような事業を実施することについても我々としては積極的に対応をしていきたい。

【こべっころんど近隣マップの配布について】

平野 こべっころんどの利用者が近隣の店舗を利用してもらうためにこべっころんどで地域団体が作成したガイドマップなどの配布が考えられないか。

八乙女副局長 地域連携であったり、地域活性化のためにこれからの指定管理者が取り組むということは非常に重要。そのため地域団体等が作成したガイドマップなどを積極的に配布して、協力をしていくことで考えていきたい。

4. 地域子育て支援事業について(紙面の都合上割愛します。)

5. 新生児聴覚検査による医療機関の支援(紙面の都合上割愛します。)

教育委員会(3月4日金)で3項目にわたり質疑いたしました。質疑のやり取りは要点のみ。

- ①兵庫運河における環境授業の浜山小学校以外への小学校への展開
- ②学校での内科検診時の上半身脱衣の方針見直しもしくは、柔軟な対応について ③イェナプラン教育について

1. 兵庫運河における環境授業の浜山小学校以外への小学校への展開

平野 兵庫運河でのアサリ、アマモの育成実証実験で浜山小学校の児童生徒と一緒にやっている取り組みは、環境面だけでなく教育面からも非常に有意義なものとする。教育委員会として浜山小学校の活動についてどのように評価されているのか。

内藤教育長 浜山小学校は海などの生き物を見つけ、兵庫運河を再生するプロジェクトを題材としてアマモの育成等の環境学習、兵庫漁協のご協力のもと漁師の願いを知って自分たちでできることを考える環境学習を子供たち自身が環境問題を自分ごととして捉え、そして主体的に良い取り組み学習活動となっている。また地域の人々、関係機関の方々と触れ合うことにより、兵庫運河や生き物を大切にしたい気持ちが子供たちに芽生え、子供たちの育成に繋がる取り組みであると感じており、大変意義があるものと評価している。

平野 今まさに神戸が取り組まなければならない脱炭素、カーボンニュートラルの大変重要な事柄であるため、神戸市内の他の小学校にも展開していくべきではないか。

松本強化指導担当部長 各学校は地域の環境や学校状況に応じ適切に学習の題材を設定しており、浜山小学校の先進的な取り組みを、まずは同一区内の小学校に紹介するとともに、このように学校と連携していただける環境授業や場所等も紹介環境の学習の支援、しっかりと努めていきたい。

2. 学校での内科検診時の上半身脱衣の件について

平野 神戸市では原則上半身脱衣ということですが、他都市では下着の着用を認

めるところもある。ただ脊柱の側弯、背骨の検査の問題であったり、またその側弯によって過去の裁判があったということも聞いている。肩のサインだったり皮膚疾患の確認のためにと医師会の意見は一定理解はできるが、プライバシー保護や児童生徒の感情面を考慮いただき、方針を見直し、もしくは対応方法を柔軟にすることができないのか。

長谷川事務局長 我々神戸市としても可能な限り児童生徒の心情に配慮することがやはり重要だと考えており、今後、例えば薄手の肌着を着たまの状態で肌着を裸上げなくても、聴診器を当てやすいように、児童生徒本人が工夫して、先生の前で隙間あける、背中を見る際には、養護教諭が後ろ側だけ肌着をめくって正確な検診の実施を担保しながら、児童生徒の診察にも配慮をしていくことができないか、具体的にこれから検討していきたいと考えている。いずれにしても児童生徒や保護者の皆さんには、検診の趣旨、実施方法について、引き続き、丁寧に周知、説明をさせていただきたいと考えている。

平野 教育委員会としては前向きな対応ということだが、医師会との調整で、そこは論議できるか。前向きに進めるという自信はあるか。

長谷川事務局長 やはり医師会の先生方の不安としては、正確な診察ができるかどうかということですので、やはりそこは担保していく必要があると思う。子供たちの心、思春期の子供たちの思いもよくわかる。見ず知らずの方に見られるというあの気持ち。もうよくわかるのでそういったところ我々が前に立って、しっかりと説明をしていきたい。

3. イェナプラン教育について(紙面の都合上割愛します。)



神戸市会議員平野達司(たつじ)事務所
神戸市兵庫区東山町2丁目8-61 マルシン市場2F
TEL:078-531-8780 FAX:078-531-5301
メールアドレス:th.tatsuji.hirano@gmail.com



平野たつじHP



平野たつじFacebook
神戸市の情報をお伝えいたします。

神戸市会の
本議会、委員会を
インターネットにて
閲覧できます。



神戸市会